

旧布引断層と布引貯水池 葺合町



布引貯水池、五本松堰堤

1995（平成7年）年の阪神・淡路大震災を引き起こした地震は断層の活動であったわけだが、中央区には新神戸駅の真上を走る諏訪山断層とそれに平行する副断層の布引断層が著名なものとしてあげられる。このうち、布引断層については布引貯水池でその断層を見ることができる。

貯水池から見える崖には岩石がたてに深く掘り込まれている様子を確認できるが、これが断層で、この布引断層は水平方向に動いた右横ズレ断層（断層の向こう側の土地が右へずれる）であると言われている。

また、この布引断層の真上に造られたのが布引貯水池である。神戸市は1900（明治33）年に全国で7番目の近代式水道を始めたが、この時に給水された水がこの貯水池の水である。このときに布引貯水池のダムも完成した。ダムは正式には「五本松堰堤」といい、重力式コンクリートハイダム（コンクリートの重量で貯水池の水をささえる）の形式をとる。高さが約33mで、水道専用のこの形式のダムとしては国内でも最も古いものの一つに数えられている。なお、このダムは国の登録文化財になっている。



布引断層

場所：神戸市中央区葺合町口円光坊